

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 473

| | | | | | |
|--------|------------|------|-----------------------------|-------------|-------------|
| 政策体系 | 24 | 事業分類 | ソフト事業 | 所管部局 | 農林商工部 商工観光課 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 7. 商工費 - 1. 商工費 - 3. 観光振 現年 | | |
| 事業名 | 観光イベント振興事業 | | | | |
| 細事業名 | 観光イベント振興事業 | | | | |
| 評価表作成者 | | | | 農林商工部 商工観光課 | 橋本千代 |

1. 事業の概要

市民の地域への誇りや一体感を高め、観光客の集客による地域の活性化につなげるため、商工会や実行委員会が主催する観光イベントに対し支援を行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

地域の特色を生かしたイベント実施を支援することにより、参加者や観光客にその土地ならではのイベントに参加してもらうことで地域の良さを感じてもらおう。
 施策目標として定める「観光入込客数200万人」を目指す。

② 事業を実施する必要性

イベントを主催する実行委員会や商工会に支援を行うことで、イベント運営の安定化を図ることができ、イベント運営等を通じて市民の地域に対する誇りや一体感を高め、市内外から多くの人を迎えることで地域の活性化、もてなしの心の高まりにつながる。

3. 事業費の推移

| | 単位 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22決算 | 平23予算 | 平24計画 | 平25計画 |
|-------------------------|----------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 決算額または計画額 | 千円 | 10,341 | 8,135 | 7,675 | 6,835 | 7,160 | 7,160 | 7,160 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財源内訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 0 | 0 | 1,051 | 0 | 0 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 10,341 | 8,135 | 6,624 | 6,835 | 7,160 | 7,160 |
| 職員等の従事人員 | 人/年 | — | 0.50 | 0.24 | 0.15 | | | |
| 人件費 | 千円 | — | 3,948 | 1,881 | 1,211 | | | |
| 事業費総額 | 千円 | — | 12,083 | 9,555 | 8,046 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

| | |
|--------------------------------------|------------|
| 美山大野ダムさくら祭り（補助金） | 230,000円 |
| 清流美山の鮎まつり（補助金） | 350,000円 |
| 南丹市商工会イベント（補助金） （やぎの花火大会・そのべ夏まつり） | 6,200,000円 |
| 美山大野ダムもみじ祭り（補助金） | 55,000円 |

5. 事業結果の概要

| | | |
|-------------|------------|---------|
| 美山大野ダムさくら祭り | 4月3日～11日 | 25,000人 |
| そのべ夏まつり | 7月31日 | 5,000人 |
| 南丹やぎの花火大会 | 8月14日 | 95,000人 |
| 清流美山の鮎まつり | 8月15日 | 3,000人 |
| 美山大野ダムもみじ祭り | 11月20日・21日 | 2,600人 |

各団体が主催する観光イベントへ支援することにより、長く続いてきた地域の特性を活かしたイベントを一定の規模を保ちながら実施することができた。

6. 活動の詳細

| | | |
|-------------------|--------------------------------|--|
| 第64回南丹市やぎの花火大会 | 8月14日（土） | 府内有数の花火大会として多くの来場者で賑わった。地元住民や企業の協力、ボランティアによる清掃活動など、市民も一体となった取組がなされている。 来場者数：95,000人 |
| 第22回美山・大野ダムもみじまつり | 11月20日（土）～21日（日） | 多くの観光客が市内外から訪れ、美山の魅力を伝えることができた。地域振興が図れた。 来場者数：2,600人 |
| 第27回清流美山の鮎まつり | 8月15日（日） プレ大会（8月8日・13日・14日） | 美山の魅力を最大限に伝え、都市住民と地域住民の交流が図れ、地域振興が図れた。 来場者数：3,000人（プレ大会含む） |
| (1) 実行委員会 | | |
| 第25回美山・大野ダムさくら祭り | 4月3日（土）～11日（日） | 多くの観光客が市内外から訪れ、美山の魅力を最大限に伝えることができた。地域振興が図れた。 来場者数：25,000人 |
| (2) 南丹市商工会 | | |
| 2010南丹そのべ夏まつり | 7月31日（土） | 晴天に恵まれ、多くの来場者で賑わった。地域の活性化と振興が図れ、商店街にもお客を呼び寄せることができた。 来場者数：5,000人 |

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

南丹市総合振興計画で目指す、観光入込客数200万人（平成22年174.4万人）の達成に向け、その一翼を担う観光イベント主催者の南丹市商工会や地域実行委員会と連携し、南丹市の観光PR及び観光消費額の増加に向けた取組みを行うことができた。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

地域の特性を生かしたイベントの支援を行うことで、地域の活性化や有効的な観光宣伝を行うことができた。
京都府の補助制度を活用し、市の一般財源の持ち出しを少しでも抑制することができた。
施策目標である「観光入込客数200万人」達成に向け継続した取組みを行う。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
地域の特色を生かしたイベントより、如何に入込客を増やすかを議論した。
- ②当該事業のアピール事項
イベント運営等を通じて市民の地域に対する誇りや一体感を高め、市内外から多くの人を迎えること。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
「観光入込客数200万人」を目指した情報の発信。